

●3月は水と衛生月間です。

室蘭北ロータリークラブ会報

Rotary



むらんど汁

室蘭岳



インスピレーションになろう

2018～2019年度 国際ロータリーテーマ

BE THE INSPIRATION

「インスピレーションになろう」

2018～2019年度 RI会長 パリー・ラシン

2019年3月26日(火) 第2273回 例会

第2510地区 日本 (DISTRICT 2510 JAPAN) ●会長:菅原 正明 ●幹事:小野寺浩二 ●編集:クラブ管理運営委員会

本日のプログラム

夜間例会・卓話「平成30年北海道胆振東部地震に伴う停電について」

水野 治 会員
クラブ管理運営委員会

本日献立 洋食(豚肉のパン粉焼きナポリタンソース・サラダ添え、ライス、スープ・デザート)

次回の予定プログラム

卓話「地域をつなぎ、地域とつながる」

東日本高速道路(株)北海道支社 室蘭管理事務所
所長 稲垣 隆一様
クラブ管理運営委員会

次週献立予定 和食ランチ(サバ塩焼き、小鉢、ライス、味噌汁、フルーツ)

※例会終了後、理事会を開催致します。

前回例会の報告

第2272回(3月19日) 例会記録

幹事報告

1. 会報の件
前回の例会回数・日時等に誤りがございました。訂正をお願い致します。
正しくは3月12日 第2271回 前回例会報告 第2270回(3月5日)
2. 次週の例会は夜間例会となっております。お間違えの無いよう宜しくお願い致します。
*ポリオプラス募金一人100円とワンコインニコニコBOXのご協力をお願い致します。

委員会報告

1. 親睦活動委員会 藤井委員長より
本日、麻雀大会開催されます。集合時間お間違えの無いようお願い致します。
集合時間: 17:30
開始: 18:00 終了: 21:00
場所: 龍苑
2. クラブ広報委員会 加藤委員長より
4/3開催の「炉辺談義(ファイヤーストームミーティング)ロータリー勉強会」ご参加宜しくお願い致します。

各種記念日



	誕生記念日	斉藤 崇 会員	3月19日	
	誕生記念日	塚田 智恵 会員	3月25日	
	結婚記念日	宮本 秀樹 会員	3月19日	
	結婚記念日	山口 雄平 会員	3月20日	
	結婚記念日	菅原 義男 会員	3月25日	
	創立記念日	藤井 徹也 会員	3月25日	

出席報告

会員数	48名	出席者数	32名
出席免除者数	2名	欠席者数	14名
出席義務者数	46名	出席率	69.57%



ニコニコBOX

藤井徹也(バンコク、マレーシアへ行ってきます)
斉藤崇(創立記念日にあたり)
菅原正明(船水会員卓話ありがとうございました)
渡部一姿(誕生記念日にあたり)
桜澤哲也(藤井さん、工藤さん、上口さんご来店ありがとうございました)

- 例会場 ホテルサンルート室蘭
- 事務所 室蘭市中島町2丁目28-6 (ホテルサンルート室蘭)
- 電話 0143-45-6569
- URL <http://murokita-rc.org/>

- 例会日 毎週火曜日 12:30 P.M.
- FAX 0143-50-6578
- E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp



卓話「世界の貧困問題への水・衛生からのアプローチ」

船水 尚行 会員
クラブ管理運営委員会

サニテーションの世界の現状

2050年の世界人口は約100億人になると推定されている。この人口から排出されるし尿・排水をどのように扱うか（ここでは、サニテーションと定義する）の議論は進んでいない。地球上に多くのヒトが活動することとなると、サニテーションは地域の公衆衛生・環境汚染と生態系管理に加え、物質循環・資源管理を左右する重要な要素となる。

一方、サニテーション施設の普及が進んでいない現状もある。世界の現状について、WHOのwebサイト（WHO Factsheets）には、「2015年では世界の68%の人しかサニテーション設備にアクセスできていない。24億人がトイレを持たず、約9.5億人が野外排泄をしている。」と報告されている。そして、サニテーションに関して地域格差が大きく、南アジア（47%（2015年））、サブ・サハラアフリカ（30%）の普及率が低いと指摘されている。SDGsの目標6「すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」が水とサニテーションに関連する。この目標の「すべての人々」という語が上述の不平等の是正を強く示している。

サニテーション問題の要因

このような課題は次のような要因からきていると考えられる：

①サニテーションが使用者に提供する価値と使用者やコミュニティの価値観の間のミスマッチがある：

開発途上国では、「携帯電話をもっているが、トイレはもっていない」という状況が観察される。このことは、サニテーションが使用者に提供している多様な価値は、使用者の価値観の中では相対的に低いことを示している。サニテーションへの投資は他の用途と比較して少なく、政策的にもその優先度が高くなっていない現状がある。

②現状のサニテーションの運営モデルがうまく働かない状況になりつつある：

サニテーションは極めて多くの関連主体が関与しなければ実施できない仕組みである。事業は地方自治体が主体となって実施している。自治体が初期投資のための借金ができるほど信用力、



統治能力を有していることが大前提になっている。また、水施設を建設・維持・管理するための関連産業が存在し、運転に必要な物質・エネルギーの供給が行われることも前提となっている。加えて、各種の専門家団体、業界団体、人材育成機関により技術水準が維持され、かつ、人材の質的・量的確保が可能であることも前提となっている。開発途上国にあっては、このような前提条件を満たすことが難しい現状がある。日本においては、高齢化と人口減少により、自治体の財政的な能力が低下し、水事業経営の健全性を保てなくなる事業体がでてくることも予想されている。

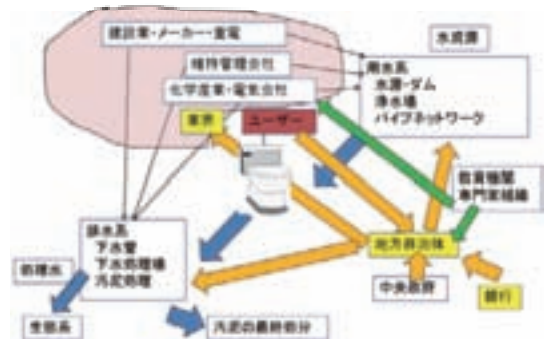


図-1 現状のサニテーションモデルを支える関連主体群（船水：サニテーション分野の持続可能な開発目標達成に向けて、土木学会誌、vol.102、No.11（2017、11）、p.6-9より引用）



図-2 サニテーションビジネスモデル（文献9）、Fig. 5より作成）

国際ロータリー第2510地区 2019～2020年会長エレクト研修セミナー

開催日時：2019年3月9日(土)～10日(日)

会 場：ANAクラウンプラザホテル千歳

次年度のRI会長は、マーク・ダニエル・マローニー氏（アラバマ州弁護士）。
以下のようにロータリーの価値観を確認し、そのうえで計画を作成しています。

中核的価値観

1. fellowship：親睦⇒理解
2. integrity：高潔性⇒倫理を守る
3. diversity：多様性⇒問題への取り組み
4. service：奉仕
5. leadership：リーダーシップ

2019年からのRI新中期計画

1. より大きなインパクトをもたらす
⇒一級の人道方針団体⇒ポリオ撲滅
2. 参加者の基盤を広げる
⇒より多くの参加⇒会員増強と経路を増やす
3. 参加者の積極的なかわりを促す
⇒共に奉仕、共に連携、満足感⇒参加型へ
4. 適応力を高める
⇒組織や文化の進歩⇒管理体制・合理化

我々地区のロータリークラブは、RI短期計画（優先事項）として、
以下のようなことを目指すようになっており、

1. 人々が手を取り合うのを促す
⇒会員増強、新しいクラブ、女性会員、40歳未満の会員、ロータアクトなど。
2. 行動する
⇒ポリオ広報、財団の活用

次年度の目標は以下のとおりです。

2019～2020年度 地区目標

「自分を見つめ、若者と語り、未来へ向けての行動を」

1. みんなで手を取り合ってクラブを強化する
⇒職業分類を調査・活用、衛星クラブの設立、女性会員、40歳未満増強
2. ロータリー財団への寄付推進、フル活用
⇒地区財団活動資金、グローバル補助金、ポリオ撲滅広報、ポリオプラス増加
3. ローターアクターなど若者や新会員を支援
⇒5年以内交流会、米山卒業生の交流、クラブ研修リーダー推奨

これを受けて、当クラブの目標を設定していきます。